

B-4. ユニットプロセスの運用データ定義

ここでは、ユニットプロセス運用時の消耗資材、運転エネルギー、保守用資材を登録します。

Microsoft Excel - LCC02_2007_f.1.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 質問を入力してください

水処理技術のCO₂排出量計算システム

ヘルプ

戻る ユニットプロセスの運用データ定義 LCC02計算 建設データへ

ユニットプロセス名 **凝集沈殿分離** 仕様 500 m3/d

追加 参照/変更 資材・運用 要素一覧 削除

水質条件(原水) BOD ~30 mg/L, COD ~90 mg/L, SS ~70 mg/L
(処理水) BOD 20 mg/L, COD 80 mg/L, SS 50 mg/L

・運用データの追加:
[追加]ボタンをクリックして「資材マスター」シートに移動し、登録するデータを選択して[登録]ボタンをクリックすることにより、資材データを登録します。
・運用データの参照および変更:
下表中のデータを選択し[参照/変更]ボタンをクリックすると「資材マスター」シートに移動してプロセスユニットに登録された資材データの一覧を表示するとともに、選択されたデータ列の色が変わり、資材データが小ウィンドウに表示されます。
資材の仕様を変更した場合は、[変更]ボタンを、そのまま参照した場合は[戻る]ボタンを、表中の詳細なデータを見たい場合は[詳細]ボタンをクリックしてください。
・運用データの削除:
削除したいデータを選択して[削除]ボタンをクリックしてください。

・データを選択してダブルクリックした場合は、ユニットプロセスに登録された運用データの一覧が表示され、さらに選択した資材データの仕様が小ウィンドウで表示されます。[変更]ボタン、[削除]ボタンによって、それぞれ変更、削除をしてください。参照だけの場合は[戻る]ボタンを、詳細を見る場合は[詳細]ボタンをクリックしてください。

【消耗資材】

種類	名称	仕様/性能	CO ₂ 算出数値
凝集剤	硫酸バンド		使用量 400 kg/day
中和・pH調整剤	か性ソーダ		使用量 150 kg/day
凝集助剤	高分子凝集剤(ポリアクリルアミド系)		使用量 2 kg/day

【運転エネルギー】

種類	名称	仕様/性能	CO ₂ 算出数値	台数	負荷率(%)	稼働時間(h/day)
電力	ポンプ槽揚水ポンプ		モーター出力 2.2 kW	1	80	24
電力	混合槽攪拌機		モーター出力 1.5 kW	1	80	24
電力	凝集槽攪拌機		モーター出力 1.5 kW	1	80	24
電力	凝集槽汚泥攪拌ポンプ		モーター出力 0.4 kW	1	80	24
電力	汚泥引抜ポンプ		モーター出力 1.5 kW	1	80	24
電力	硫酸バンド供給ポンプ		モーター出力 0.2 kW	1	80	24
電力	か性ソーダ供給ポンプ		モーター出力 0.2 kW	1	80	24
電力	凝集助剤供給ポンプ		モーター出力 0.4 kW	1	80	24
電力	助剤自動溶解器		モーター出力 1.2 kW	1	80	6

コマンド NUM

表中の運用データをクリックすることにより資材を選択できます。

・運用データの追加:

[追加]ボタンをクリックして「**資材マスターシート**」画面に移動し、登録する資材データを選択してください。[登録]ボタンをクリックすることにより、資材データを登録します。
⇒詳細は「**資材マスターシート**」の説明画面へ

・運用データの参照および変更:

[資材・運用 要素一覧]ボタンをクリックすると、「**運用資材、運転エネルギーデータ登録**」画面に移動してプロセスユニットに登録された資材データの一覧を表示します。

また、表中の資材データを選択し[参照/変更]ボタンをクリックすると「**運用資材、運転エネルギーデータ登録**」画面に移動してプロセスユニットに登録された資材デ

ータの一覧を表示するとともに、該当するデータ ID が選択され、資材データを変更できます。⇒詳細は「[運用資材、運転エネルギーデータ登録](#)」の説明画面へ

・**運用データの削除**: 削除したいデータを選択して[削除]ボタンをクリックしてください。
「[資材データ変更](#)」ダイアログが表示され、資材データを削除できます。
⇒詳細は「[運用資材、運転エネルギーデータ登録](#)」の説明画面へ

・表中でダブルクリックすると、ダブルクリックした行のデータの有無によりデータの変参照、変更、削除、または追加ができます。

(1) 行にデータがある場合: データの変更・参照・削除

「[運用資材、運転エネルギーデータ登録](#)」画面に、ユニットプロセスに登録された資材データの一覧が表示され、該当するデータの行が選択されます。さらに選択した資材データの仕様が「[資材データ変更](#)」ダイアログで表示されます。

- ・[変更]ボタン,[削除]ボタンによって、それぞれ変更、削除をしてください。
- ・参照だけの場合は[取り消し]ボタンをクリックすると「[運用資材、運転エネルギーデータ定義](#)」画面に戻ります。
- ・詳細を見る場合は[詳細]ボタンをクリックしてください。

(2) 行にデータがない場合: データの追加

・「[資材マスターシート](#)」画面に移動します。登録したい資材データを選択してデータを登録してください。⇒詳細は「[資材マスターシート](#)」の説明画面へ

●運用データ定義が終了したら、ユニットプロセスの登録は完了です。

- ・[建設データへ]ボタンをクリックすると、「[建設データ定義](#)」画面に移動します。
- ・[LCCO₂ 計算]ボタンをクリックすると、「[ユニットプロセスの CO₂ 排出量](#)」画面に移動し、現在選択しているユニットプロセスの CO₂ 排出量を計算・表示します。⇒「[ユニットプロセスの CO₂ 排出量](#)」画面の説明へ
- ・[戻る]ボタンをクリックすると「[トップシート](#)」画面に戻ります。